愛知・権利としての福祉を守る関係団体共同実行委員会　学習会

社会福祉法改正の狙いと私たちの取り組み

「権利としての社会福祉」が大きく変質されようとしています。

1月４日に開会された通常国会では、社会福祉法改正案が参議院で審議予定です。

社会福祉法改正案は法人の理念・運営にかかわっての問題点が多く、特に小規模法人には負担が多く、法人の存立にかかわることもあり、衆議院では10項目の付帯決議が付けられました。

国会での議論も踏まえ、法改正の狙い、その先にあるものは何か、そして誰もが安心して暮らすことのできる社会保障・社会福祉をどうつくるのか考えます。

問題点　 第１、地域公益活動の義務化。

第２、「社会福祉充実残額いわゆる内部留保」を「地域公益活動」に充当。

第３、イコールフッティング

第４、経営組織の見直し。

第５、退職手当制度の見直し。

参加費無料

■日時

２月５日(金)18:00～20:30

■会場

労働会館本館２階会議室

金山駅南徒歩10分　イオン熱田北　有料駐車場有

■講師　衆院厚労委員会で意見陳述された

**社会福祉施設経営者同友会会長・**

**社会福祉法人大阪福祉事業財団事務局長**

茨木範宏　氏

お申込み・問合せ先　愛障協　愛知・権利としての福祉を守る関係団体共同実行委員会事務局

　　　　　　　　　　〒456-0031 名古屋市熱田区神宮2-3-4もやいビル

電話052-682-7912　FAX 052-682-7916　mail　soudan732@nifty.com

**参加申込書**　FAX 052-682-7916　mail　soudan732@nifty.com　　　　　　　申込　　月　　日

氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　所属団体・法人名

講師への質問